

令和 7 年度

一般選抜二期「小論文」解答例

* 出題意図等についての質問および問い合わせには対応いたしません。

* 配点については、学生募集要項に記載のとおりです。

設問：宿題って必要？読売新聞・朝刊 2024 年 5 月 17 日（金）

（A 論の立場からの場合）

私は A 論の立場を支持します。まず、宿題は、教育の公平性と学習の定着を促進するために必要不可欠な要素です。例えば、塾に行けない子どもや、家庭で勉強する習慣がない子どももあり、家庭の経済状況や環境により、家庭内での学習支援等に差が生じることがあるからです。宿題があることで、家庭や学校の環境に関わらず、すべての児童が一定の学習時間を確保でき、すべての児童に平等な学習機会が提供されると思います。さらに、適切な宿題の量により、家庭や教師と連携しながら子どもの学習意欲を促進する良い機会となると考えます。

次に、宿題は学習内容の定着を助ける重要な手段になると思います。教諭の B さんが「何回も反復させることが大事」とあるように、授業中に学んだ内容を復習し、自分の理解度を深めることができるため、知識が向上していくと考えます。特に、日々の復習は記憶の定着に効果的であり、長期的な学力向上に寄与しますし、学校だけでなく、家庭でその機会を作る宿題の役割は大きいと思われます。

高松市議会で宿題の原則廃止を求める陳述も提出されており、もちろん、宿題の量や内容については適切な配慮が必要だと考えます。基本的には教育の公平性と学習効果を高めるために、宿題は重要な役割を果たしていると思います。宿題についてはさまざまな考え方がありますが、完全に廃止するのではなく、子どもたちの自主性を尊重しつつも、必要な学習の機会を確保するために適切なバランスを取ることが望ましいと考えます。